

地域密着型サービス自己評価項目

評価項目構成

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

合計

サービス評価に関する(自己評価のみ)

合計

自己評価
項目数

外部評価
項目数

24

14

3

2

3

1

5

4

7

3

6

4

10

2

4

1

6

1

17

6

3

1

3

2

1

1

10

2

38

11

30

9

8

2

89

33

13

102

記入方法

事業所の管理者が介護従業者と協議し、ご記入ください。

「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に「1」を入力し、該当しない場合は「0」を入力してください。サービス評価に関する項目では、選択肢から事業所として該当すると思われる「1」～「4」の数字を入力してください。

自己項目は89項目です。【国87項目+県追加2項目。除くサービス成果項目】
外部評価項目は33項目です。【国30項目+県追加3項目】

「自己評価」は、上部の項目番号が通し番号となっています。

「外部評価」には「外部評価」の表示と下の項目番号が通し番号です。

県の追加項目には「追加」。重点項目には「重点」と項目の横に表示しています。

サービスの成果に関する項目は、13項目です。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、地域包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームファミリーユ

(ユニット名)グループホームの場合
ファミリーユ東館

記入者(管理者)

本田節子

記入日 2007年4月19日

ファミリー東館

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	3	
理念に基づく運営	1	理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	のんびり、ゆったり出来る環境づくりを行い、一人ひとりの生活の流れを大切にしている。一人ひとりの思いや希望が表出しやすい雰囲気作りを行っている。地域との交流では、地域の住民が気軽に立ち寄り、語らいの場になることがある。利用者家族が友人とくつろぎの場になりつつある。	1	地域の中で、ゆったりゆっくり出来る環境づくりを、地元協力住民との共存し互いに協力できる体制づくりを行いたい。電動車椅子のバッテリー切れ充電サポート、地元住民の介護の相談援助等、現在行っている。更なる、地域に密着したよりよい地域共同体となることを目指したい。
		2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者本位、自己選択ができ、ゆったり、ゆっくり生活ができるよう、機会あるごとに、はなしを行う。	1	他のグループホームの見学や理念の研究を、行って生きたい。
	3	家族や地域への理念の浸透【外部評価】 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族や民生委員に外出行事に参加できるよう案内や広報を行っている。また運営推進会議にも地元協力住民、民生委員、地域包括支援センター大牟田市長寿社会推進課職員、家族代表等参加してもらい、理解してもらえよう対応している。	1	更なる、理解の浸透を目指して、はやめ校区社会福祉連絡協議会への参加広報誌の回覧依頼をししている。	
	2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)			0	
2	地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の住民との挨拶やくつろぎの場所、憩いの場所として、活用されている。また介護の相談援助も平行して行っている。	1	地元組織、隣組の役員選時には改選前の担当者や改選後の担当者が挨拶に来られたり、利用者との会話、交流も行われている。近隣住民宅で栽培されたはなを持参されることもある。
		5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	季節にあった行事、花見や予芸会、地域の行事に参加できている。グループホームの行事には、地域協力住民や民生委員、家族等が参加している。	1	さらに、地域密着の活動が出来るよう施設周辺の清掃、美化活動を利用者、スタッフにて行っている。施設前の私道（地域住民が多く使用している）を中心に活動している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合 との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		0	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価を参考に、研修や自己研鑽を行っている。	1	引き続き、外部評価を通して、気づきを大切にしてい、質の向上を図りたい。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、外部評価の結果報告や改善策を具体的に提示している。提示したことによる、会議で出た意見に、率直に傾聴し対応している。	1	運営推進会議には、地元協力住民に積極的な前向きな意見を取り入れ、活発な会議が行われている。運営推進会議の参加メンバーは、高齢化してきており、高齢者の立場に立っての会議が行われている。ただ、参加メンバーも会議の内容を忘れていたり、理解出来なかったりで会議が混乱することも、時に見られる。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見人制度について資料提示、勉強の機会を持っている。	1	家族には必要に応じて説明を行うも、家族が必要ないと答える場合が殆どである
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連の資料提示や説明を行っている。	1	利用者本位、自己選択が出来るよう、スタッフの自己研鑽を行っている。研修やスタッフ間での意見交換等。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		0	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、契約書、重要説明書の説明を行い分からないことがあれば尋ねられているため今のところ問題は生じていない。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常日頃は管理者ならびに職員は利用者からの意見、不満、苦情を真摯に受け止め対応するよう心がけており、また、家族会などの外部者が集う機会を設け、意見を聴取し運営に反映している。また、病院の医師、職員もしょうじ	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	自己評価 7項目・外部評価 3項目	1	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常日頃は管理者ならびに職員は家族からの意見、不満、苦情を真摯に受け止め対応するよう心がけており、また、家族会や運営推進会議などの外部者が集う機会に表せる機会を設け、意見を聴取し運営に反映している。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議を開催して、その中で意見を聴取している。その中の意見で、待遇面などについては、理事会、運営会議に諮り検討を行う。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	スタッフ同士での話し合いや調整を行っている。	1	話し合いの時間を調整して行っている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 を 実 践 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	東館、西館別に担当を区分けしている。変わる場合は、利用者、家族に配慮しながら職員の希望、質の向上を検討して少人数の移動にとどめるよう努力している。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)				0
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢、性別関係なく、採用している。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	会議やミーティングで、人権学習の機会を持っている。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護支援専門員（管理者）が情報交換した情報を職員に伝達を行っている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	働く者のケアを図る為に、相談窓口、対応者を決め行っている。メンタルヘルスを、同系列の病院が主体となって行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	目標管理を導入して、行うよう計画している。本人のやりたい希望を聴取して、資格取得を奨励している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)					0	
安心と信頼 に向けた関係作りと支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	係わりを多く持つことで信頼関係を保ち顔の表情、本人の行動などを見ながら不安などを察し本人から話を聴くようにしている。職員などにもそれを伝え話を聞くように努めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	自己評価 1 0 項目・外部評価 2 項目	1	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人さんがホームに入所されたら他の利用者さんに挨拶をして本人さんが不安のないように職員が係わりを多く持つようにしている。又家族も心配される場合ชั่วคราวホームに来て頂いているし来られない場合は状況を家族へ電話連絡するようにしている。	0	
	2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			0	
係り2 継とた 続こた へれな のま の支 援の 関 く	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ラジオ体操、洗濯タタミ、手拭のタオル、食事後のワゴン車移動、料理の下ごしらえの協力、などを手伝って頂いたりしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の悩みなど聴き助言できることは話し合いを行い解決につなげるように努めている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	自己評価6項目・外部評価1項目	1	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族が連れて外出したり、職員がなじみの場所にドライブに連れて行ったりしている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	性格が合わない場合があったりしてリビングに座る場所の工夫テーブルを移動したり、職員が交わったりしてトラブルを防いでいる。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院などで契約が途切れても見舞いに行ったりしてつながりを持つようになっている。いつでも立ち寄りくださいと声掛けしている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				0
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人さんが認知症がすすんでいる場合は家族の意向で希望を聞いている場合もある	1	本人さんの言葉、行動などを見ながら取り組みを行っている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	自己評価 17項目・外部評価 6項目	4	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)		0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価 18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	1~2ヶ月毎にミーティングを行うかその都度家族、職員の意見を聞きながら行っている	0	
		39 外部評価 19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態が変化した場合臨機応変で対応現状を家族に電話連絡し了承を得るようにしている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	自己評価 3項目・外部評価 2項目	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)		0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価 20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の多機能の生かした支援を行っている。介護及び相談援助。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)		0	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	1	
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他のケアマネージャーとの連携をとって話し合いはしている。	1	サービス事業所からも多く見学にこられるようにしていきたい
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	自己評価 1 0 項目・外部評価 2 項目	3	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所相談時にかかりつけ医との継続か転医を希望されるかは本人と家族が決められる。系列の南大牟田クリニックからの訪問診療の紹介は行うが強制はしない。	1	入所全員が月 2 回の定期的訪問診療を希望されている。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	南大牟田クリニックにの院長に相談している。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	系列の訪問看護週 1 回の健康管理提携夜間急変時オンコール体制をとっている。昼間緊急時南大牟田クリニックに受診する。	1	日ごろの状態変化をこまめに報告するようにしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4 本人がより良く暮らし続けるための地域の資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	見舞いに行き病院職員に状態を聞いたり担当医尋ねたりしている。	1	洗濯物を取りに行き頻繁に顔を出し不安感を取り除くように職員が話しかけに行っている
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	担当医が家族に病状説明をされ家族として今後どこまでしてほしいか話し合いを持ち入院になればどの時点で入院するかはまた家族との話し合いで決める。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入所時契約する時点で重度化や終末期になれば医療中心になることが多くなるため事業所として出来ること、出来ないことの説明はしている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族が他の介護付き住宅が出来るまでの一時的なグループホームでの生活自分の家の近くでもあるし家族と本人が決められ移り住まれたが情報交換を行った。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				0
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)			0	
		1	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		0	
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	20	
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	17	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)		0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎朝モーニングケアを行い寝衣から洋服に着替えて朝食をとられるように努めている	1	身体が動ける方はじぶんの行きつけの、理容、美容は行っていただいているがいけない人は訪問理容に来てもらっている。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	動ける方は自分の能力におおじて食事の準備をしたり野菜を切ったり、テーブルを拭いたりしていただいている。	1	そのひの気分もあるので無理強いはしないようにしている
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	自己評価6項目・外部評価2項目	5	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄時間表を見ながら排泄を促したりしている	1	尿意便意が分からない人には2時間~3時間毎にオムツ交換を行っている
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日時間帯は決め手いるが本人が入りたくない場合は無理強いせず曜日変効して入浴していただいている	1	入居される前から入浴嫌いの人には足浴から初め除徐になれていただき足浴しながら同時に清拭気持ち良かったといわれたら入浴を促し今では抵抗なく入浴される。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠る時間は人それぞれのため早寝の習慣の人夜遅くまで起きている方には無理強いわず本人が寝られるまでリビングで対応している	1	利用者の中には前立肥大の人もおられ夜間何回ともなく起きられるが転倒の危険を考え必ず見守りをするようにしている。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)		0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人が出来ることをして頂いて、ありがとうございますを忘れないようにしている。	1	利用者同士が助け合って洗濯タリビングのカーテン閉めなどは自分たちの役割と認めていただいている。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人渡しにしたなら自分片付け泥棒が入ったと言いながら他の利用者に言いふらし他の利用者が不穏状態になるので本人渡しはしていない。他の利用者さんで以前はお金を預って買い物に行っていたが今は自分で持ちたいと思っている人が物盗られ妄想が強くて出来ない現状である。その他の人はお金は自分で持たなくて良いとっておられる。	1	一人ひとりに合わせて希望通りにしていきたい
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自己評価6項目・外部評価2項目	4	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月命日、温泉に出かけられる人、ショッピングに連れて行かれる人、自宅へ外出される人車でドライブにスタッフが連れて行ったりしている	1	正月などは外泊されている方もおられる。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族から誕生日など贈り物が贈られてくる。家族から手紙が来たりしている。自分からは電話が出来方はおられないがスタッフに電話をかけてといわれることがあるので電話をかけ本人代わったりしている。	1	継続していきたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族、知人、友人いつでも訪問できるようにしている。時間の制限はしていないいつでも訪問できるように配慮して部屋、テレビの前のソファで過されたりコーヒー、お茶等出している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)				0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設時から身体拘束しないケアを行っている職員も分かっているので今のところ身体拘束はしていない	1	これからも継続していきたい	
		68 外部評価29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間は誰でも出入りしやすいように玄関は鍵はかけていない	1	開設時からその方針は変わっていない	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	自己評価8項目・外部評価2項目	3		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	食べ物と間違え、ちり紙を食べたり、紙おむつを引き裂いたりひとそれぞれに工夫をしている。	0		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ベットより起き上がり床に立たれる際フラツキがあったりして転倒の危険があるのでセンサーマットを使用したり誤嚥予防のために汁物、水分の飲み込みが悪い時はトロメリンを使用したり食事の時はそばで見守りを行うように心がけている。	1	一人ひとりの状態把握を行うようにしている。			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署に行き救急の講習会に行き訓練を受けている	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練年に2回実施災害時の場合母体病院に避難する	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	契約時点で起こり得るリスクは家族に説明し納得してもらっている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)		0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの日ごろの状態把握を身につけることが大事である。いつもの状態と違いを気付いたら速やかに報告を受け対応する。	1	熱が出た時、腹痛、食欲不振、いつもより元気がないとき
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	高齢者の薬の勉強会など参加したり利用者の一人ひとりの薬の説明書を見たり飲んでいただく時名前確認、血圧が高い利用者は内服を飲んだ後の血圧の変化を見るようにしている	1	介護事業所連絡協議会開催の高齢者と薬の管理についての勉強会に参加している
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	自己評価7項目・外部評価1項目	3	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後ではないが朝、寝前の口腔ケア実施している。入れ歯の人は毎に就寝前にはずしボリデントに漬けている。	1	口腔ケアはその人にあったケアを継続したい
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	疾患によっては制限がある人は、いるが全員一日の水分をチェックして少ない人には声掛けを行い飲んでいただくようにしている	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	毎年インフルエンザ予防接種は家族に相談して行っている。感染症のあるひとは入所時、かかりつけ医の情報で入所時検査を行い疾患がある場合注意事項に沿って行っている。疥癬が起らないよう寝具等は天気の良い日には外に干したりこまめに交換している。ノロウイルスには十分気をつけている	1	月1回職員の便検査。C型肝炎等は血液に十分気をつけるようにしている。C型肝炎の利用者の把握 調理時は手洗い、使い捨て手袋使用 家族等の訪問は手指消毒設置
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日まな板、テーブル拭きはキッチンハイターで消毒している。調理した残り物、期限切れ等は使用しないようにしている	1	毎日実行したかどうか職員の名前を記入している。
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	木造の一階建てのホームで玄関も広く障子が見える家庭的な雰囲気です。気軽に入れる。玄関まわりは入居者と職員が季節の花を植えている。	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自己評価8項目・外部評価2項目	3	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自己評価5項目・外部評価2項目	1		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンス、テレビ、湯のみ、箸、お茶碗、愛着のぬいぐるみ等持込まれ、安心して過ごせる場所となっている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングには、室内温度計を設置してホーム内は適切な温度管理が行われ、換気のために、窓の開閉を行っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)				0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっており、手すりは程よい高さで設置され、浴槽、物干し等も入居者に合わせてあり、居室のベランダには衝撃の少ない素材が使われている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室には入居者の名前をつけて部屋の間違いを防ぎトイレには便所と目印をつけて場所の間違いを防いでいる。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	自己評価3項目	2				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果（該当する数字を右該当番号欄へ入力）	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2 / 3 くらいの 利用者の1 / 3 くらいの ほとんど掴んでいない	1	利用者、家族の意向を尊重していると思う	
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2 / 3 くらいと 家族の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思 う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足して いると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。